

きいて・めもして・こたえよう

ニュース・宇宙開発の今

なまえ
名前

聞くめあて 月への「計画」と、その「目的」、そして「数字」を、分けてメモしましょう。

おとさない言葉：計画・目的・数字

放送が終わったら、開いて問題に答えましょう。



やまおり

(1) 人類が月に降り立ったのは、およそ何年前だと言っていましたか。

(2) ふたたび月を目指す「目的」として、話されたものはどれですか。○をつけましょう。

ア 月にあるといわれる水の氷を調べる

イ 月に工場をつくって物を売る

ウ 月の石で家をたてる

(3) 地球から月までは、およそ何キロメートルだと言っていましたか。

(4) この月への計画の進め方について、話し手はどう言っていましたか。○をつけましょう。

ア 多くの国が力を合わせて進めている

イ 一つの国だけで進めている

ウ だれも進めていない

(5) あなたは、宇宙開発を進めることについてどう考えますか。自分の考えを理由とともに書きましょう。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声流す）。読む回数：1回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

今日の、ニュース解説は、「宇宙開発の、今」です。今、世界の、国々が、ふたたび、月を、目指して、います。その、計画と、目的、そして、数字を、聞き取りましょう。

まず、計画です。人類が、月に、降り立ったのは、およそ、五十年前。それ以来、人は、月から、遠ざかって、いました。ところが、近年、いくつもの、国が、力を、合わせ、ふたたび、人を、月へ、送る、計画を、進めて、います。日本の、宇宙飛行士も、この、計画に、参加する、予定です。

では、なぜ、また、月を、目指すのでしょうか。目的は、大きく、二つ、あります。一つは、月に、あると、いわれる、水の、氷を、調べる、こと。水が、あれば、人が、長く、とどまる、助けに、なります。もう一つは、月を、足がかりに、して、さらに、遠い、火星などへ、行く、じゅんびを、する、ことです。

数字でも、見て、みましょう。地球から、月までは、およそ、三十八万キロメートル。ロケットで、数日、かかります。とても、遠い、きよりを、多くの、国が、力を、合わせて、こえようと、して、いるのです。一つの、国だけでは、なしとげられない、大きな、ちょうせんです。

宇宙は、遠い、世界の、話に、思えるかも、しれません。でも、この、計画が、進めば、いつか、人が、月で、くらす、日が、来るかも、しれません。もしかしたら、その、一人は、今、この、教室に、いる、みなさんの、中から、生まれるのです。

メモのれい

宇宙開発の今（計画・目的・数字）

計画：月に人が降りて約50年→近年ふたたび、多くの国が協力して人を月へ／日本の宇宙飛行士も参加予定

目的：①月の水の氷を調べる（人が長くとどまる助け）②火星など遠くへ行く足がかり

数字：地球～月 約38万km／ロケットで数日。一国では無理な大きなちょうせん

こたえと かいせつ

（1）およそ五十年前

「人類が、月に、降り立ったのは、およそ、五十年前」と言っていました。

（2）ア（月にあるといわれる水の氷を調べる）

目的は「水の氷を調べる」とことと「火星などへ行くじゅんびの足がかり」の二つです。

（3）およそ三十八万キロメートル

「地球から、月までは、およそ、三十八万キロメートル」と言っていました。

（4）ア（多くの国が力を合わせて進めている）

「一つの、国だけでは、なしとげられない…多くの、国が、力を、合わせて」と言っていました。

（5）（例）わたしは進めるとよいと思う。宇宙を調べることで、地球のことも新しく分かると思うからだ。

自分の考え（賛成・慎重など）と理由が書けていれば正解です。